

五項目の闘争 方針を確認

新日窒労組が
合理化計画で

水俣市のチツソ水俣合化労連新
日窒労組（岡本達明委員長、六百
四十六人）は、二十四日午後四時
半から市公会堂で組合大会を開き
チツソ水俣工場の合理化計画に対
する闘争方針を確認した。

闘争方針では水俣工場の大半が

石油化学に移行しなければなら
ない状況にあっても、なお電力、労
働力、工場誘致などすぐれた立地
条件を持っているとの立場から①
チツソ各事業所への配転増加②低
廉な電力を活用、水俣に大量雇用
型の新規事業を起こせ③電力以外
の新規事業も積極的に起こす④硫
酸工場などの存続⑤雇用転換の場
合、本人の意思を尊重し、退職条
件の優遇、労働条件が現行より下
回らぬこと―の五項目を要求して
いる。